

## 第4章 バリアフリーに関する現況と課題

### 4-1 アンケート調査結果

#### <既存アンケート調査>

本市ではこれまでも、市内における生活環境の向上を図るため、高齢者や身体障害者などの当事者の方々に対してさまざまなアンケート調査を行っていますが、これらのアンケート調査結果のうち、特にまちのバリアフリーに関連するものについては、以下のとおりまとめられます。

平成5年度 まちづくりに関する摂津市民意識調査報告書（平成6年6月）

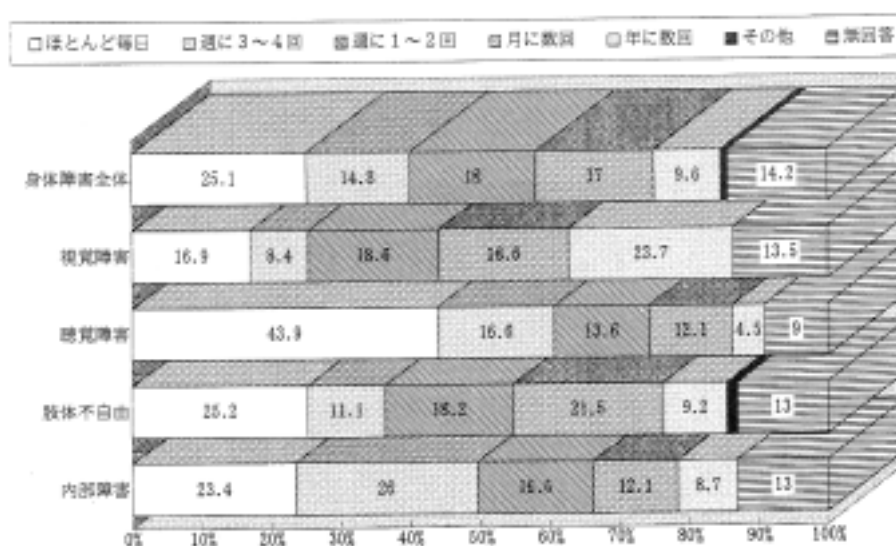
調査対象	摂津市に居住する満20歳以上の男女
抽出方法	無作為抽出
調査方法	発送・回収とも郵送による
調査期間	平成5年9月30日～平成5年10月19日
発送数	3,000
有効回収数	1,630（回収率54.3％）
調査結果の概要	
<将来の定住意向>	
・ 「いずれ市外に引っ越したい」、「市外に引っ越す予定がある」は合わせて3割となっている。	
・ 市外へ引っ越す理由は「日常生活（交通・買い物・医療など）に不便を感じる」が最も多く28.9%を占める。	
<生活動向>	
・ 「日用品の買物」は「摂津市内」が65.1%を占めている。	
・ 「病院・医院の利用」は「市内」が57.8%と多く、ついで「吹田市内」、「大阪市内」などとなっている。	
・ 「公園・文化施設の利用」は、「摂津市内」がほぼ半数となっている（スポーツ施設：49.9%、文化施設：49.8%）。	
<将来の都市のイメージ>	
・ 「高齢者や障害者の方々も安心して生活できるまち」が26.5%と最も多く、ついで「市内外のどこへ行くにも便利なまち」が21.5%となっている。	

摂津市障害施策に関する新長期行動計画（平成 9 年 3 月）

調査対象	摂津市在住の障害者
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送調査法および面接調査法
調査期間	平成 7 年 9 月 4 日～平成 7 年 10 月 9 日
発送数	997
回収数	748（回収率 75.03％）

調査結果の概要

< 外出状況 >



- ・ 全体で半数強が週に 1 ～ 2 回以上外出している。
- ・ 障害により格差があり、特に外出が少ないのは視覚障害者である。

まちづくりに関するアンケート調査報告書（平成 10 年 3 月）

調査対象	摂津市に居住する満 20 歳以上の男女
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送調査法
調査期間	平成 9 年 11 月 28 日～平成 9 年 12 月 25 日
発送数	1,000
回収率	51.5%
調査結果の概要	<p>&lt; 摂津市の道路整備に望むもの &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「歩行者や自転車が通りやすい歩道整備」が最も多く 64.9%を占める。</li> <li>・ 地域別にみると、北西部と南西部では上記項目を最も多い（北西部：64.6%、南西部：74.7%）のに対し、東部では「広域的道路整備」が最も多い（72.0%）。</li> </ul>

摂津市行政施策別市民意向調査報告書（平成 15 年 3 月）

調査対象	摂津市に居住または勤務する 18 歳以上の男女個人
調査方法	街頭面接調査（一部例外あり）
調査期間	平成 14 年 7 月 11 日～平成 14 年 12 月 13 日
有効回答数（のべ数）	5,255 サンプル / 6 基本政策
調査結果の概要	<p>&lt; 摂津市の実施する施策（全 63 施策）に要するコスト &gt;</p> <p>第 1 位 「高齢者が地域で自立し、生活できるまちづくりをすすめます」</p> <p>第 9 位 「障害者の地域における日常生活を支援します」</p> <p>第 10 位 「障害者の社会参加が可能な環境づくりをすすめます」</p> <p>第 12 位 「市内の道路網を整備し、利便性を高めます」</p> <p>第 44 位 「高齢者が気軽に社会参加できるまちづくりをすすめます」</p> <p>第 46 位 「市の各地に活気あふれる中心街をつくります」</p> <p>第 62 位 「バリアフリーのまちづくりをすすめます」</p> <p>&lt; 施策に要するコストの印象 &gt;</p> <p>「バリアフリーのまちづくり」が突出して安いとの印象がある。</p> <p>&lt; 施策内容の満足度 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「市内の道路網整備」、「活気あふれる中心街づくり」の 2 施策については 6 割以上が不満足と回答している。</li> <li>・ 「バリアフリーのまちづくり」、「生活道路整備」は半数以上が不満足と回答している。</li> </ul>

摂津市民のくらしと地域福祉に関する実態調査（平成 16 年 3 月）

調査対象	摂津市に居住する世帯（地域類型ごとに対象世帯を選定）
調査方法	調査員による訪問聞き取り調査
調査期間	平成 16 年 3 月 10 日～平成 16 年 3 月 16 日
有効回答数	602 世帯（回収率 87.8%）
<p>調査結果の概要</p> <p>「摂津市地域福祉計画」を策定するにあたり実施、調査結果については現在集計中である。</p> <p>子供が小学校に入学する時期を境に市外に転出する傾向が見られる背景にどのような地域や暮らしの現実があるのか、また、「福祉のまちづくり」をすすめるために住民と行政が果たす役割を探ることを重要視した。</p> <p>調査項目については、地域福祉計画に直接関係するものに限定せず、くらしを成り立たせている就業・労働条件をはじめ、健康状態や食生活、子育て、介護問題、近所づきあいや地域活動の状況、地域の生活環境や福祉・医療に関わる期間・施設などを幅広く捉えることを目的として設定した。</p>	

< 本構想をまとめるにあたってのアンケート調査 >

交通バリアフリー基本構想の策定にあたっては、当事者の意見を十分把握しながら進める必要があります。そこで、平成 16 年 9 月に、高齢者、身体障害者、妊婦などの当事者を対象として図 4 - 1 のとおりアンケート調査を実施しました。

なお、アンケート調査票および調査結果の設問別回答の詳細については別冊資料としてまとめているので、ここでは、その中から主要なものを抜粋して考察しています。

< 実施時期 >

平成 16 年 9 月上旬 アンケート票の配布（団体等への配布、聞き取り）

平成 16 年 9 月上旬～10 月上旬 回収

< 調査対象・方法と回収数 >

調査対象	調査方法	配布数	回収数	回収率
高齢者	高齢者団体を通じて配布・回収した。	300	213	71%
身体障害者 （肢体不自由、視覚、 聴覚・言語、内部等）	身体障害者団体を通じて配布・回収した。	174	122	70%
幼児連れ母親・妊婦	保健センターにて配布、 その場で回収した。	38	38	
一般（比較対象）等	市職員を通じて配布、回収した。	86	86 （その他 31 含）	
総計		598	459	

図 4 - 1 当事者アンケートの調査・回収方法、回収率など

結果データの集計にあたっては、表 4 - 1 の基準で対象を定義しました。

表 4 - 1 データ集計にあたっての対象者の定義

数字は対象者数(総合計459)

団体通じて 配布・回収	手帳なし(*1)		手帳あり(*1)	
	移動困難あり(*2)	移動困難なし(*2)	移動困難あり(*2)	移動困難なし(*2)
65才以上	高齢者 (移動困難あり) 129	高齢者 (移動困難なし) 84	身体障害者 (移動困難あり) 103	身体障害者 (移動困難なし) 19
65才未満	一般 55			
上記判別が不明なもの その他 31				
保健センターにて 配布・回収	幼児連れ母親・妊婦 38			

\*1・・・(問14回答) 身体障害者手帳・療育手帳のいずれかを所持 「手帳あり」

\*2・・・(問5回答) 「外出のときに段差の歩行や階段の上り下りについて困難がありますか」の設問に対して  
「大変困難」「やや困難」「場合により困難」を回答 「移動困難あり」

回答結果の分析に先立ち、回答者属性を以下に整理します。

## &lt; 性別 &gt;

「高齢者」「身体障害者」「一般」の男女比は、ほぼ6：4となっています。

表 4 - 2 回答者属性(性別)

	男		女		計	
		%		%		%
高齢者	121	60%	81	40%	202	100%
身体障害者	65	59%	45	41%	110	100%
一般	34	64%	19	36%	53	100%
幼児連れ・妊婦	0	0%	38	100%	38	100%

## &lt; 年齢構成 &gt;

「高齢者」のうち、65～74歳の前期高齢者が6割を占めています。

「身体障害者」のうち、65才以上の高齢者の割合が6割以上と多くなっています。

「幼児連れ・妊婦」は、8割以上が25～34歳です。

表 4 - 3 回答者属性(年齢構成)

	15～24歳		25～34歳		35～44歳		45～54歳		55～64歳		65～74歳		75～84歳		85歳～		計	
		%		%		%		%		%		%		%		%		%
高齢者											125	59%	81	38%	7	3%	213	100%
身体障害者	1	1%	3	2%	4	3%	10	8%	31	26%	44	36%	23	19%	5	4%	121	100%
一般	0	0%	2	4%	3	6%	14	26%	35	65%							54	100%
幼児連れ 妊婦	1	3%	29	83%	5	14%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	35	100%

# < 住所 >

回答者の住所は市内全域にわたっており、広い地域の住民からの回答となっています。

# < 身体状況 >

身体について不自由を感じているところは、高齢者、身体障害者とも「下肢」「上肢」または「視覚」と回答された方が多くみられました。

表 4 - 4 回答者属性（身体について）

	特に無い		上肢		下肢		視覚		聴覚		言語		内部		知的障害		計	
		%		%		%		%		%		%		%		%		%
高齢者(移動困難有)	40	29.6	12	8.9	44	32.6	16	11.9	14	10.4	1	0.7	7	5.2	1	0.7	135	100.0
高齢者(移動困難無)	55	73.3	0	0.0	5	6.7	7	9.3	5	6.7	1	1.3	2	2.7	0	0.0	75	100.0
身体障害者(移動困難有)	0	0.0	44	22.0	75	37.5	24	12.0	22	11.0	20	10.0	13	6.5	2	1.0	200	100.0
身体障害者(移動困難無)	3	13.0	5	21.7	3	13.0	1	4.3	7	30.4	3	13.0	1	4.3	0	0.0	23	100.0
幼児連れ・妊婦	23	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	23	100.0
一般	35	70.0	2	4.0	9	18.0	2	4.0	0	0.0	1	2.0	1	2.0	0	0.0	50	100.0
その他	2	40.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	2	40.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	100.0
総計	158	30.9	63	12.3	136	26.6	51	10.0	50	9.8	26	5.1	24	4.7	3	0.6	511	100.0

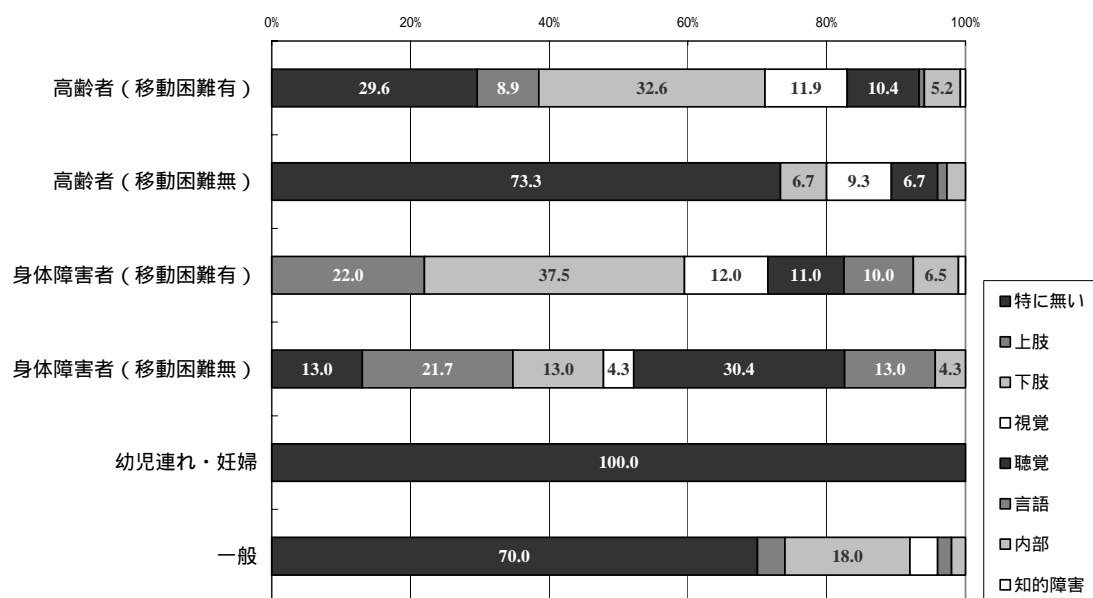


図 4 - 2 身体について

< 当事者の外出の傾向 >

普段の外出の頻度を尋ねたところ、高齢者では5割以上、身体障害者では4割以上、幼児連れ・妊婦では6割以上の方が「ほぼ毎日」外出しており、「週に2～3回」以上外出する人も多くみられました。当事者の外出が日常的に行われていることがうかがえます。

表4 - 5 回答者属性（外出頻度）

	ほぼ毎日		週に2～3回		月に数回		年に数回		全く外出しない		計	
		%		%		%		%		%		%
高齢者(移動困難有)	67	54.5	34	27.6	20	16.3	1	0.8	1	0.8	123	100.0
高齢者(移動困難無)	41	53.9	27	35.5	8	10.5	0	0.0	0	0.0	76	100.0
身体障害者(移動困難有)	46	46.5	30	30.3	17	17.2	3	3.0	3	3.0	99	100.0
身体障害者(移動困難無)	9	47.4	3	15.8	5	26.3	1	5.3	1	5.3	19	100.0
幼児連れ・妊婦	23	62.2	13	35.1	1	2.7	0	0.0	0	0.0	37	100.0
一般	40	75.5	10	18.9	3	5.7	0	0.0	0	0.0	53	100.0
その他	8	29.6	12	44.4	4	14.8	2	7.4	1	3.7	27	100.0
総計	234	53.9	129	29.7	58	13.4	7	1.6	6	1.4	434	100.0

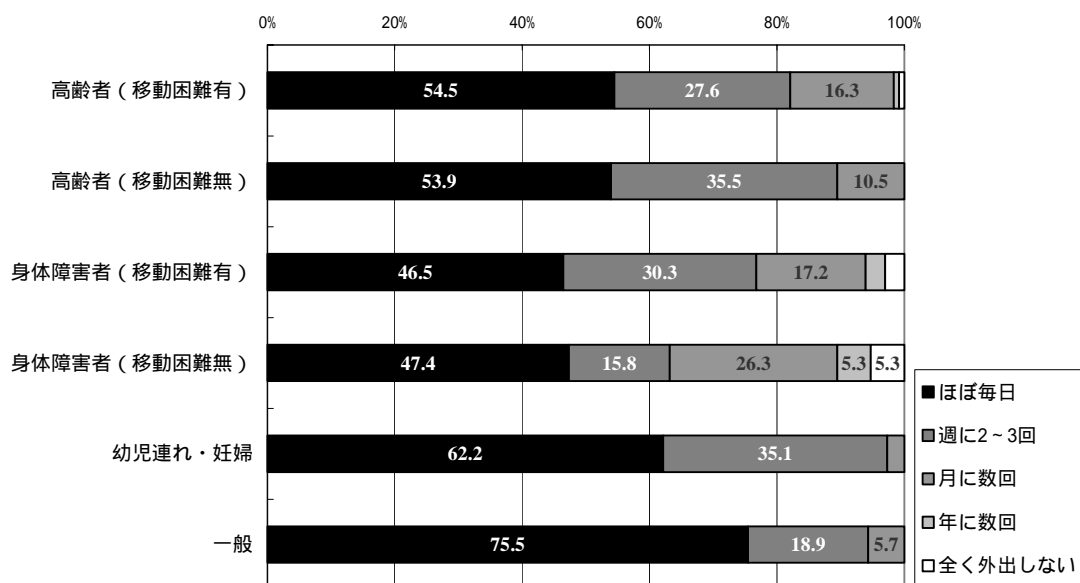


図4 - 3 外出頻度



よく行く外出先としては、高齢者では「商業施設」「医療施設」、身体障害者では「医療施設」「福祉施設」、幼児連れ・妊婦は「商業施設」「公園」の割合が多くなっています。特に移動困難のある人の場合、「医療施設」の割合が高くなっています。

また、摂津市・吹田市の範囲内での外出が多くなっています。

表 4 - 6 回答者属性（よく行く外出先）

	職場	学校	商業施設	娯楽施設	官公庁	福祉施設	医療施設	公園	仕事の関係先	銀行郵便局等	計
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
高齢者(移動困難有)	10 10.9	1 1.1	18 19.6	11 12.0	2 2.2	6 6.5	30 32.6	7 7.6	3 3.3	4 4.3	92 100.0
高齢者(移動困難無)	6 11.3	0 0.0	11 20.8	7 13.2	0 0.0	6 11.3	11 20.8	6 11.3	5 9.4	1 1.9	53 100.0
身体障害者(移動困難有)	8 9.4	0 0.0	4 4.7	1 1.2	4 4.7	20 23.5	36 42.4	4 4.7	5 5.9	3 3.5	85 100.0
身体障害者(移動困難無)	6 42.9	0 0.0	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	3 21.4	2 14.3	0 0.0	1 7.1	14 100.0
幼児連れ・妊婦	6 20.0	1 3.3	11 36.7	4 13.3	0 0.0	0 0.0	1 3.3	6 20.0	0 0.0	1 3.3	30 100.0
一般	26 60.5	0 0.0	6 14.0	4 9.3	0 0.0	1 2.3	2 4.7	1 2.3	0 0.0	3 7.0	43 100.0
その他	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.3	4 17.4	10 43.5	4 17.4	0 0.0	3 13.0	23 100.0
総計	63 18.5	2 0.6	51 15.0	28 8.2	7 2.1	37 10.9	93 27.4	30 8.8	13 3.8	16 4.7	340 100.0

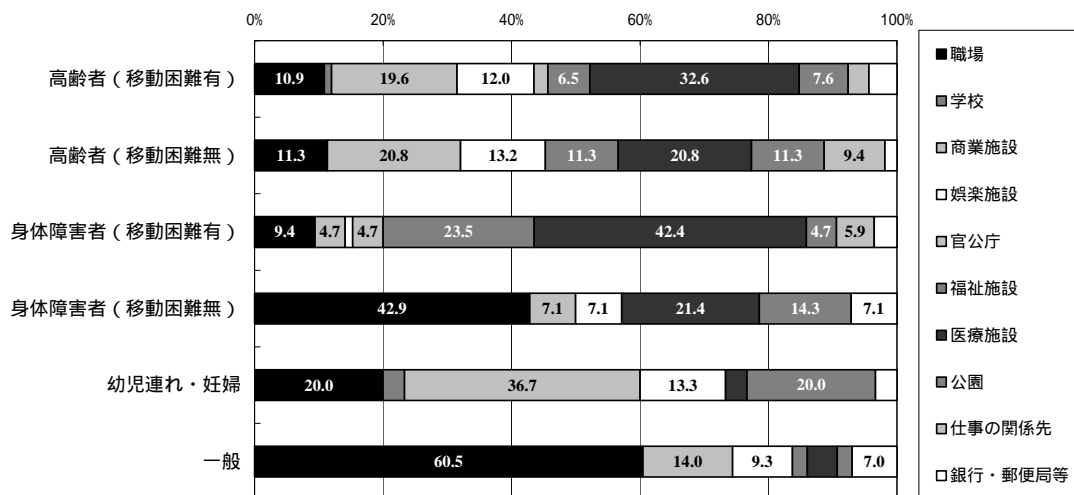


図 4 - 4 よく行く外出先

主な利用交通手段としては、「自動車」、「自転車」の割合が多く、ついで「徒歩」となっています。

高齢者については、「自転車」利用が3割以上と多くなっています。

身体障害者については、「自動車」利用が多く、自分で運転する場合と他の人に送迎してもらった場合を合計すると、移動困難のある人の約半数、移動困難のない人の4割弱の人が、自動車を利用しています。

表 4 - 7 回答者属性（主な利用交通手段）

	自動車 (自運転)		自動車 (同席)		タクシー		電車		バス		自転車		バイク 原付		徒歩		車椅子		計	
		%		%		%		%		%		%		%		%		%		%
高齢者(移動困難有)	22	17.2	9	7.0	3	2.3	18	14.1	16	12.5	39	30.5	3	2.3	17	13.3	1	0.8	128	100.0
高齢者(移動困難無)	21	25.9	7	8.6	0	0.0	10	12.3	8	9.9	26	32.1	2	2.5	7	8.6	0	0.0	81	100.0
身体障害者(移動困難有)	18	18.2	32	32.3	3	3.0	5	5.1	8	8.1	10	10.1	2	2.0	11	11.1	10	10.1	99	100.0
身体障害者(移動困難無)	5	27.8	2	11.1	1	5.6	1	5.6	4	22.2	2	11.1	0	0.0	3	16.7	0	0.0	18	100.0
幼児連れ・妊婦	9	25.0	1	2.8	0	0.0	6	16.7	1	2.8	9	25.0	0	0.0	10	27.8	0	0.0	36	100.0
一般	18	32.7	1	1.8	0	0.0	1	1.8	3	5.5	16	29.1	6	10.9	10	18.2	0	0.0	55	100.0
その他	3	11.1	1	3.7	2	7.4	5	18.5	4	14.8	7	25.9	0	0.0	2	7.4	3	11.1	27	100.0
総計	96	21.6	53	11.9	9	2.0	46	10.4	44	9.9	109	24.5	13	2.9	60	13.5	14	3.2	444	100.0

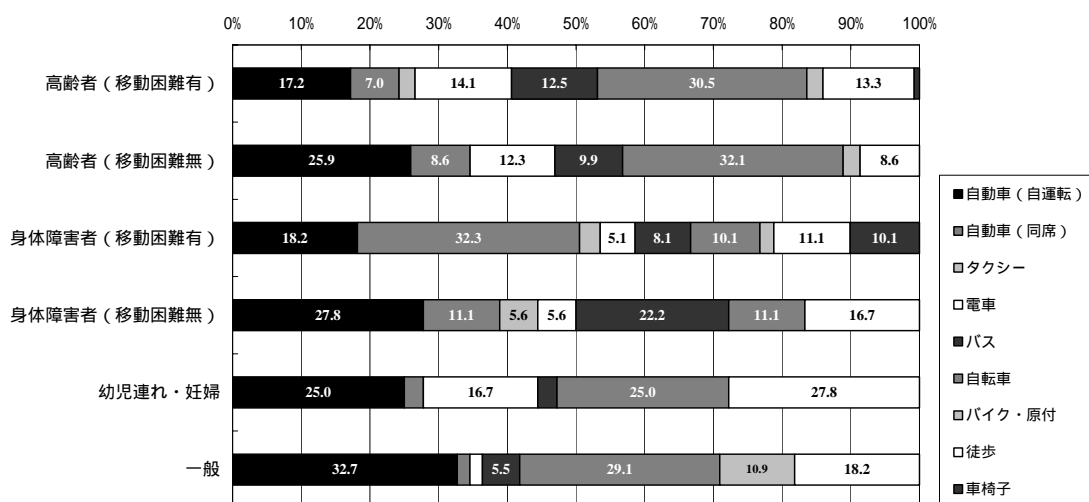


図 4 - 5 主な利用交通手段

< 鉄道駅の利用状況と当事者からの意見 >

摂津市内の駅でよく利用する駅としては、「ＪＲ千里丘駅」がもっとも多く、ついで「阪急正雀駅」となっています。

表４－８ 回答者属性（主な利用交通手段）

	千里丘駅		正雀駅		摂津駅		南摂津駅		その他		計	
		%		%		%		%		%		%
高齢者（移動困難有）	62	51.2	32	26.4	5	4.1	13	10.7	9	7.4	121	100.0
高齢者（移動困難無）	40	51.9	24	31.2	1	1.3	6	7.8	6	7.8	77	100.0
身体障害者（移動困難有）	32	34.4	25	26.9	1	1.1	9	9.7	26	28.0	93	100.0
身体障害者（移動困難無）	7	36.8	2	10.5	2	10.5	6	31.6	2	10.5	19	100.0
幼児連れ・妊婦	14	37.8	11	29.7	2	5.4	6	16.2	4	10.8	37	100.0
一般	19	36.5	12	23.1	9	17.3	11	21.2	1	1.9	52	100.0
その他	12	44.4	5	18.5	2	7.4	4	14.8	4	14.8	27	100.0
総計	186	43.7	111	26.1	22	5.2	55	12.9	52	12.2	426	100.0

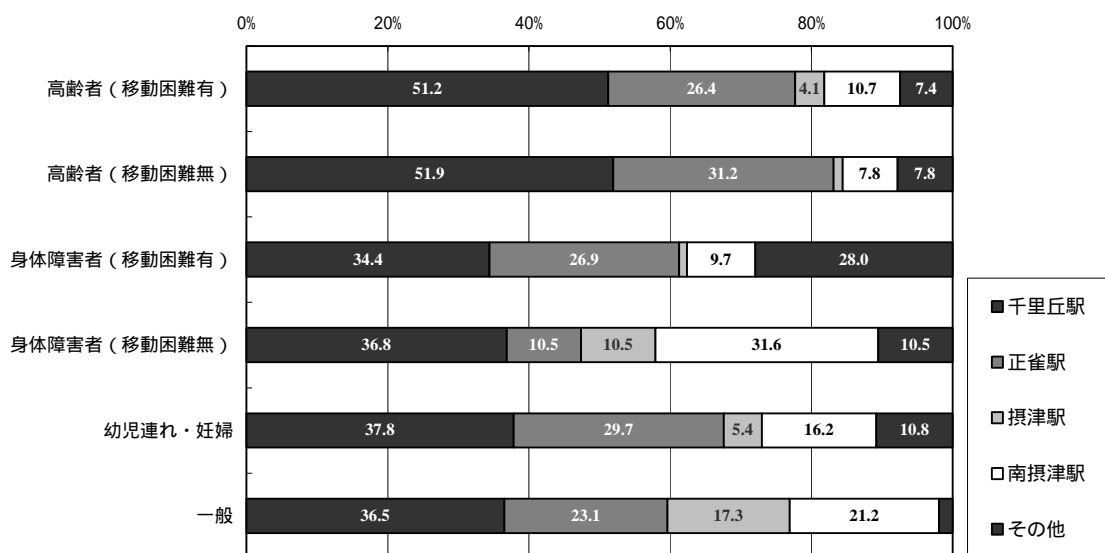


図４－６ 主な利用交通手段

鉄道駅への意見としては、ＪＲ千里丘駅、阪急正雀駅とも、エレベーター、エスカレーターの設置要望が特に多くなっています。

表４－９ 鉄道駅への要望

	ＪＲ千里丘駅	阪急正雀駅
上下移動の円滑化	エスカレーターの設置（４０） エレベーターの設置（２８） 階段が多く大変（６）	エスカレーターの設置（３６） エレベーターの設置（２５） 階段が多く大変（６）
その他	駅前に放置自転車が多く歩きにくい（１２）	駐輪場の充実を（６） 駅前の道が狭く、自動車が怖い（３）

よく利用するバス停としては、アンケート回答者のうちの約3分の1がＪＲ千里丘駅を挙げており、ＪＲ千里丘駅が重要な乗り継ぎ駅となっていることがうかがえます。

表４－１０ バス停の利用状況

1	ＪＲ千里丘駅	136
2	鳥飼八防	44
3	下鳥飼	19
4	中鳥飼	12
	南摂津駅	12
6	正雀	11
	摂津市役所前	11
8	西鳥飼	10
	鳥飼五久	10
	新在家口	10
	福祉会館前	10
12	鐘化前	9
	上鳥飼	9
	鳥飼西3丁目	9

\* 上記の他に、19のバス停に計63の回答あり。

< 公共公益施設の利用状況と当事者からの意見 >

J R 千里丘駅周辺では、「総合福祉会館」「市民文化ホール」「摂津医誠会病院」の利用が特に多くなっています。また、「保健センター・休日応急診療所」「市民体育館」もよく利用されています。これらの施設へ行くときの交通手段では「自転車」「自動車」「バス」が主に利用されています。

阪急正雀駅周辺では、「安威川公民館」「市民図書館」「正雀市民ルーム」の利用が多くなっています。これらの施設へ行くときの交通手段は「自転車」「自動車」「徒歩」ですが、「安威川公民館」「市民図書館」では特に「自転車」利用が4割と目立ちます。

表 4 - 11 公共公益施設の利用状況（複数回答）

	よく行く施設	主な交通手段（上位3位を記載）
J R 千里丘駅 周辺 回答数 668	1.総合福祉会館（175）	自転車（31％）・自動車（27％）・バス（19％）
	2.市民文化ホール（161）	自転車（26％）・自動車（25％）・バス（24％）
	3.摂津医誠会病院（122）	バス（28％）・自動車（28％）・自転車（21％）
	4.保健センター・休日応急診療所（39）	自動車（31％）・バス（23％）・徒歩（21％）
	5.市民体育館（34）	自転車（32％）・自動車（32％）・バス（12％）
阪 急 正 雀 駅 周辺 回答数 280	1.安威川公民館（65）	自転車（42％）・自動車（29％）・徒歩（11％）
	2.市民図書館（63）	自転車（43％）・徒歩（22％）・自動車（21％）
	3.正雀市民ルーム（32）	徒歩（33％）・自転車（28％）・自動車（19％）

< JR千里丘駅周辺のまちへの改善要望 >

JR千里丘駅周辺のまちについて、今後、どのような改善や取り組みが必要かを尋ねたところ、「不法駐輪の取り締まり強化」「自転車利用者のマナー向上に向けての啓発活動」など、上位10位のうち4つまでが自転車に関するものとなりました。無秩序な自転車の駐輪が特に問題とされていることがうかがえます。また、「道路や歩道の整備、改修」「歩行者中心の道路ネットワークの整備」といった道路整備を望む回答も多くなっています。

その他では「小中学校や高校での安全指導」「一般市民の理解促進」といった心のバリアフリーに関する施策や、「店舗の看板や商品のはみ出し規制」「狭い道路での自動車の通行規制」といった規制・指導を望む回答も支持されています。

表4-12 JR千里丘駅周辺のまちへの改善要望

	改善要望（27項目中、上位10位を記載）
自転車に関するもの	1.不法駐輪の取り締まり強化（165） 3.自転車の利用者のマナー向上に向けて啓発活動（148） 4.駐輪場の増設（127） 8.駐輪場の位置や利用情報の提供（103）
道路に関するもの	2.道路や歩道の整備、改修（152） 5.歩行者中心の道路ネットワークの整備（118）
その他	6.小中学校や高校での安全指導（114） 7.一般市民の理解の促進（111） 9.店舗の看板や商品のはみ出し規制（99） 10.狭い道路での自動車の通行規制（97）

< 阪急正雀駅周辺のまちへの改善要望 >

JR千里丘駅周辺と同様、自転車、道路に関する改善要望が多くあげられています。

表4-13 阪急正雀駅周辺のまちへの改善要望

	改善要望（27項目中、上位10位を記載）
自転車に関するもの	2.自転車の利用者のマナー向上に向けて啓発活動（103） 3.不法駐輪の取り締まり強化（99） 5.駐輪場の増設（95） 8.駐輪場の位置や利用情報の提供（80）
道路に関するもの	1.道路や歩道の整備、改修（134） 4.歩行者中心の道路ネットワークの整備（97）
その他	6.狭い道路での自動車の通行規制（88） 7.店舗の看板や商品のはみ出し規制（81） 9.小中学校や高校での安全指導（79） 9.店舗など建物内部の改修やエレベーター・エスカレーターの設置（79）

< バリアフリー化への期待 >

駅や道路の改善など様々なバリアフリー化に対して期待することを尋ねたところ、「将来、さらに年をとったときに安心である」「誰にも気兼ねすることなく自由に外出ができるようになる」「精神的に気が楽になる」などの回答が上位にあげられました。

今後、まちのバリアフリー化が進むことにより、将来への安心感が増すとともに、外出の自由度が高まることで外出機会の創出につながることを期待されています。

表 4 - 14 バリアフリー化への期待

バリアフリー化への期待（13 項目中、上位 5 位を記載）
1. 将来、さらに年をとったときに安心である（230）
2. 誰にも気兼ねすることなく自由に外出ができるようになる（153）
3. 精神的に気が楽になる（135）
4. これまで行けなかった場所に行けるようになる（131）
5. 家族の負担が軽減される（127）

< バリアフリーのまちづくりに対する意見等 >

道路や歩道の改善・整備に関する意見がもっとも多く、ついで、鉄道駅と駅周辺、自転車、バスなどに関する意見が寄せられました。また、「少しでも早くバリアフリー化を」など、今後、早期の施策実施を期待する声も、数多く寄せられました。

表 4 - 15 バリアフリーのまちづくりに対する意見等

	主な意見（数字は類似の意見数）
道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レンガの歩道はガタガタする。（32）</li> <li>・歩道の狭さや段差を改善してほしい。（特に鳥飼地区、正雀地区、薫英学園前）（32）</li> <li>・歩道整備。（2）</li> <li>・自転車道の設置。（2）</li> <li>・歩道に車が乗り上げている。（2）</li> </ul>
鉄道駅 および 駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道が少ないので困る。（阪急正雀駅等）（6）</li> <li>・エレベーターは広く。（5）</li> <li>・エレベーターの設置。（改札口やホームへ、特に阪急正雀駅）（5）</li> <li>・正雀駅前を少し広くして信号をつけてほしい。（2）</li> </ul>
自転車	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車のマナーの向上。（ベルをつけていない。ジグザグ運転。飛び出し。）（2）</li> <li>・駅前の自転車の置き場所をもっときちんと整理して欲しい。（特に JR 千里丘駅）（2）</li> </ul>
バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの時刻表に明かりが欲しい。夜、暗くて見えない。（1）</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少しでも早くバリアフリーになってくれると良いと思う。（17）</li> <li>・学校にも全階、障害者用トイレを作してほしい。（3）</li> <li>・こういったバリアフリーの取り組みをされることは大変良いと思う。（3）</li> <li>・公共施設に障害者用の駐車場を設置。リフト付き送迎バスの巡回。（3）</li> </ul>

#### 4 - 2 現地調査およびワークショップ

市民におけるバリアフリー意識を高揚するとともに本構想における整備の方向性を定めるための参考とするため、高齢者・身体障害者などの当事者を含む市民の参加を得て、鉄道駅などの特定施設および特定経路となり得る道路等について現地調査を行い、問題点等を把握しました。

表 4 - 16 現地調査及びワークショップの概要

実施日時	平成 16 年 9 月 15 日（水曜日） 13：00～17：00	
参加人数	64 名	（参加した当事者の内訳） 聴覚障害者：4 名 肢体障害者：4 名 視覚障害者：5 名 高齢者：5 名 幼児連れ母親：4 名 その他：手話通訳者、学生、ボランティア、検討委員会委員、本市および近隣市等職員
調査ルート	JR 千里丘駅、阪急正雀駅及びその周辺を各 2 グループ（A～D の計 4 グループ）に分かれて調査を行った。 各グループの調査ルートの詳細は図 4 - 7 参照。	

現地調査終了後には参加者全員によるワークショップを開催し、現地調査における問題点等を全員で共有しました。参加者よりいただいた意見については図 4 - 8 に整理していますが、これらのうちから主なものを以下に列挙します。

- ・主な交差点には音響信号機を設置すべきである。
- ・JR 千里丘駅、阪急正雀駅には構内外ともエレベーターが必要である。
- ・違法駐輪（特に駅前）を何とかすべきである。（写真 - 1）
- ・視覚障害者用の誘導ブロックがきちんと整備されていない。
- ・歩道と車道の分離が出来ていない箇所が多い。
- ・十分な幅員が取れていない歩道がある。（写真 - 2）
- ・歩道の傾き（横断勾配）がきつい箇所がある。
- ・歩道と横断歩道の間段差が大きい箇所がある。



( 写真 - 1 )



( 写真 - 2 )





写真 4 - 1 現地調査のようす





写真4 - 2 ワークショップのようす







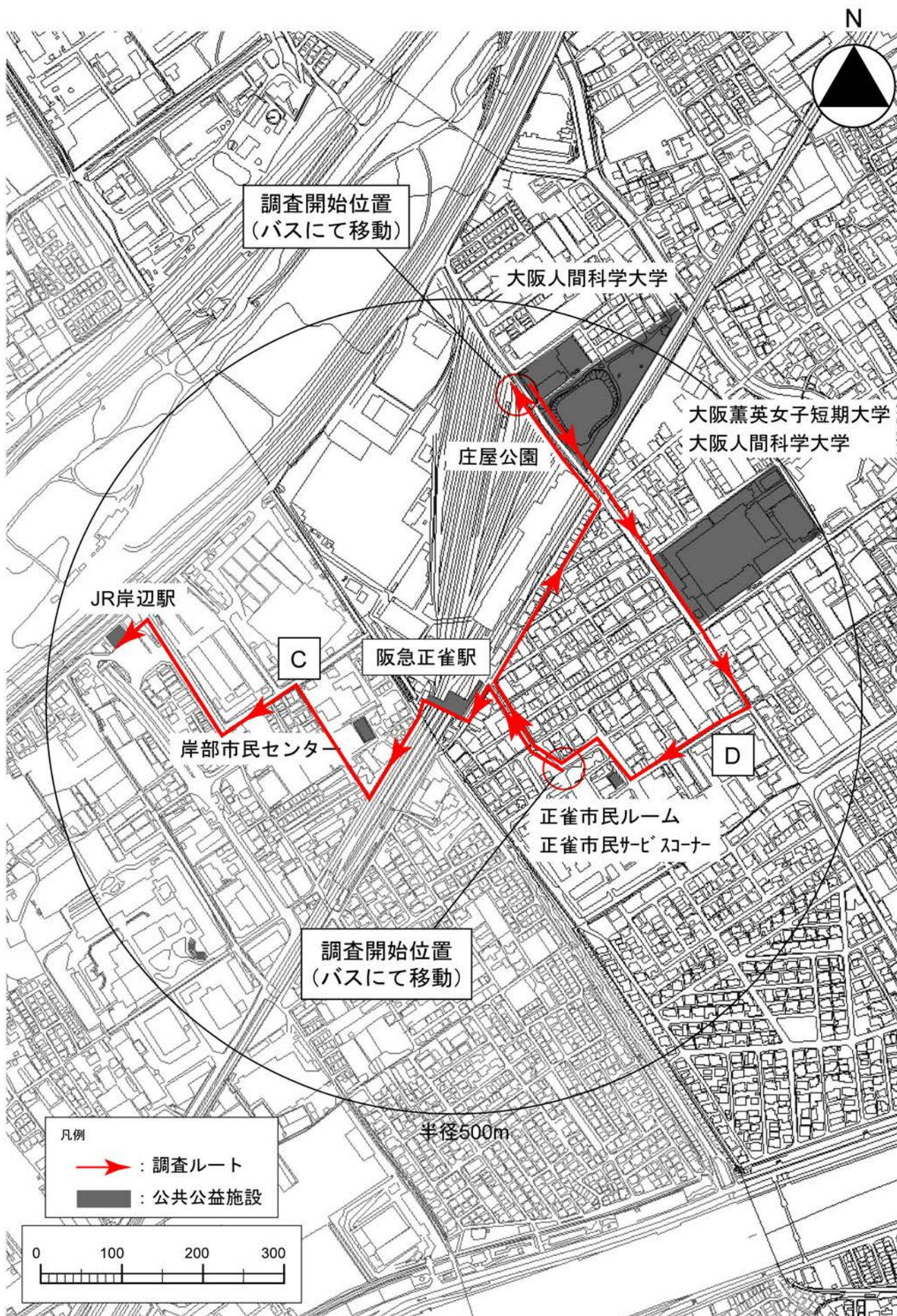


図4-7(2) 現地調査ルート (C・Dチーム)



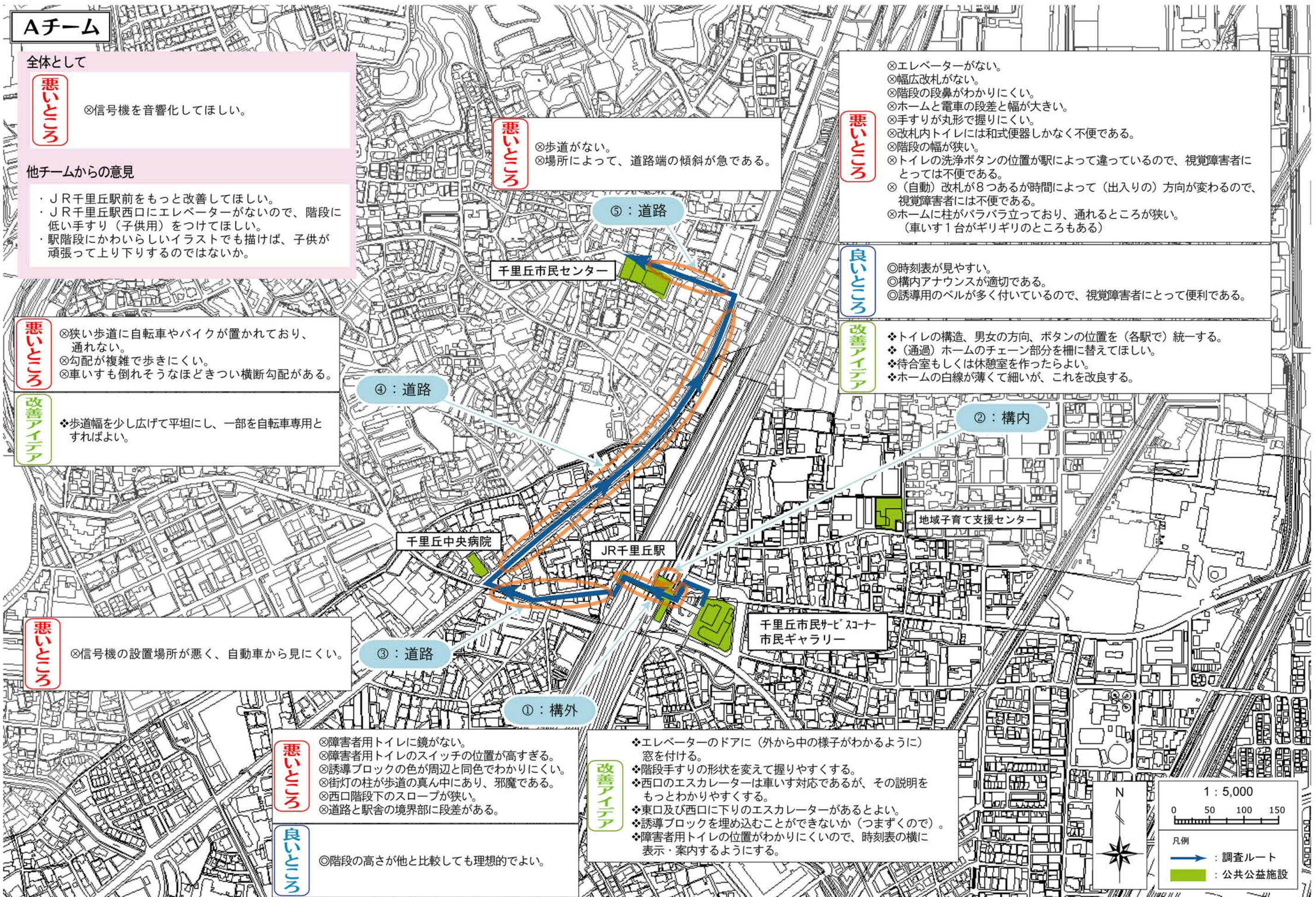


図4-8(1) ワークショップの結果（Aチーム）



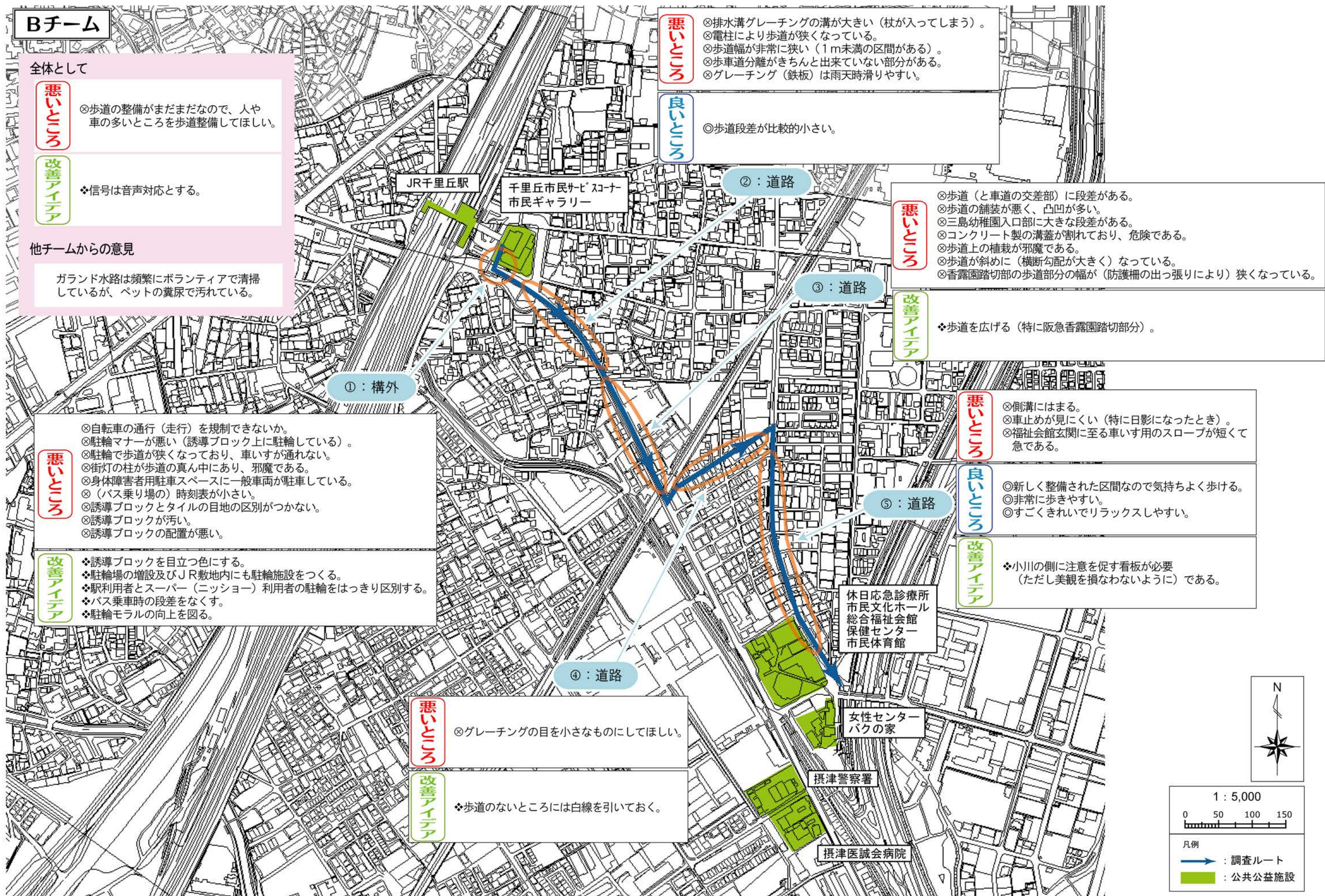


図4-8(2) ワークショップの結果（Bチーム）



## Cチーム

### 全体として

#### 改善アイデア

- ❖ハード整備だけでなくソフト面からもバリアフリーを進めよう。
- ❖バリアフリーマップの視覚障害者対応を行う。  
(大阪市交は点字マップやテープへの吹き込みを行っている)

### 他チームからの意見

- ・ワークショップは成功であった。
- ・JR沿いの道のことも対象にしてほしい。
- ・岸辺駅前歩道の自転車などの状態についてももう少し意見がほしかった。

#### 悪いところ

- ⊗エレベーターがない。
- ⊗障害者用トイレがない。
- ⊗入口の段差がきつい上に段差の識別ができない。狭い。
- ⊗階段下で車いすの人が駅に上がろうとしても駅員を呼ぶことができない。
- ⊗エスカレーターを登り切った後、手すりが続いている。
- ⊗岸部側出入口には大きな段差があり、これを解消するスロープもない。
- ⊗トイレの段差を解消するスロープがない。
- ⊗階段の段差が識別しにくい。

#### 良いところ

- ◎車いすで電車に乗るときに渡し板を使用している。
- ◎視覚障害者用誘導ブロックがきちんと設置されている。

#### 改善アイデア

- ❖階段下に、すぐに駅員の呼出しボタンを設置する。
- ❖(段差解消のための)スロープを設置する。(現状は段差がひどい)
- ❖電子情報盤を設置し、ろうあ者の方に情報提供する。
- ❖エレベーターを設置する。
- ❖車いす対応の公衆電話を改札口付近に設置する。
- ❖トイレに幼児ホルダーを設置する。また、男性用トイレにもおむつ替え用の台を設置する。

#### 悪いところ

- ⊗誘導ブロックがない。(途切れている)
- ⊗(車止め)ポール間が狭くて車いすが通れない。
- ⊗歩道から横断歩道に至る部分に設置されている車止めポールは、目の不自由な方に支障となる。
- ⊗(歩道がない)道の端に溝があるが、ここに設置されているグレーチングの目が大きすぎる。(杖などがはまる)
- ⊗店舗の看板や自転車・バイクが道路にはみ出している。
- ⊗歩道が傾いている。
- ⊗道路の不法占拠(自動販売機、店舗看板・商品など)。
- ⊗グレーチングの目が粗く、杖などがはまってしまう。

#### 良いところ

- ◎タクシーの乗場前には信号機が設置されていてよい。

#### 改善アイデア

- ❖駐輪場の増設により、不法駐輪が減らせるのではないかな。
- ❖駅前付近においては、歩道と車道をきちんと分ける。
- ❖車止めコーンが設置(置かれて)されているが、これを撤去してスロープを設置してはどうか。

#### 悪いところ

- ⊗(岸辺)駅隣のローソン前の横断歩道に信号機がなく、危ない。
- ⊗放置自転車の数があまりにも多い。

#### 改善アイデア

- ❖音響信号機を設置する。

#### 悪いところ

- ⊗視覚障害者が歩きやすいスペースがなく、また、ガイドヘルパーにとっても不便である。
- ⊗スロープや段差が多く平坦な箇所がない。また、誘導ブロックもない。
- ⊗道路は広いのに歩道がない。

#### 悪いところ

- ⊗誘導ブロックが(連続して)ない。
- ⊗駐輪マナーが悪い。(誘導ブロック上に駐輪している)
- ⊗歩車道分離がされており段差もないが、(歩道)幅が狭く車いすやバギーが通りにくい。

#### 良いところ

- ◎歩道が広く誘導ブロックもあり、段差もあまりない。
- ◎設備が整っていて良い。
- ◎歩道が良く整備されており、清潔である。
- ◎(正雀ふれあい広場では)緑が多く、ベンチで休憩もできる。

#### 改善アイデア

- ❖歩道に使っているインターロッキングブロックについて、(車いすが通行しやすいように)面とりの小さなものに替える。
- ❖正雀駅から市民ルームに至る経路に連続した誘導ブロックを設置する。

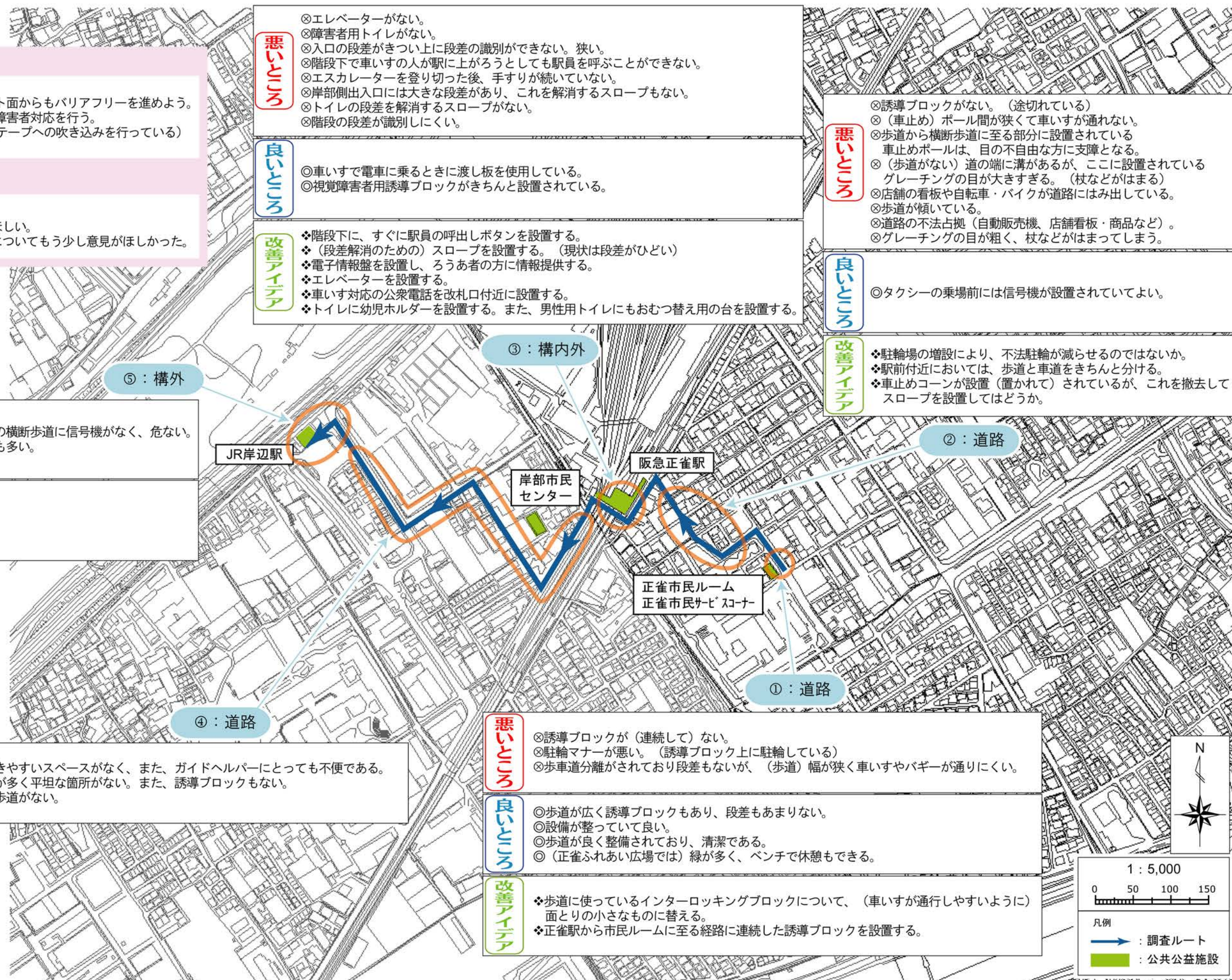
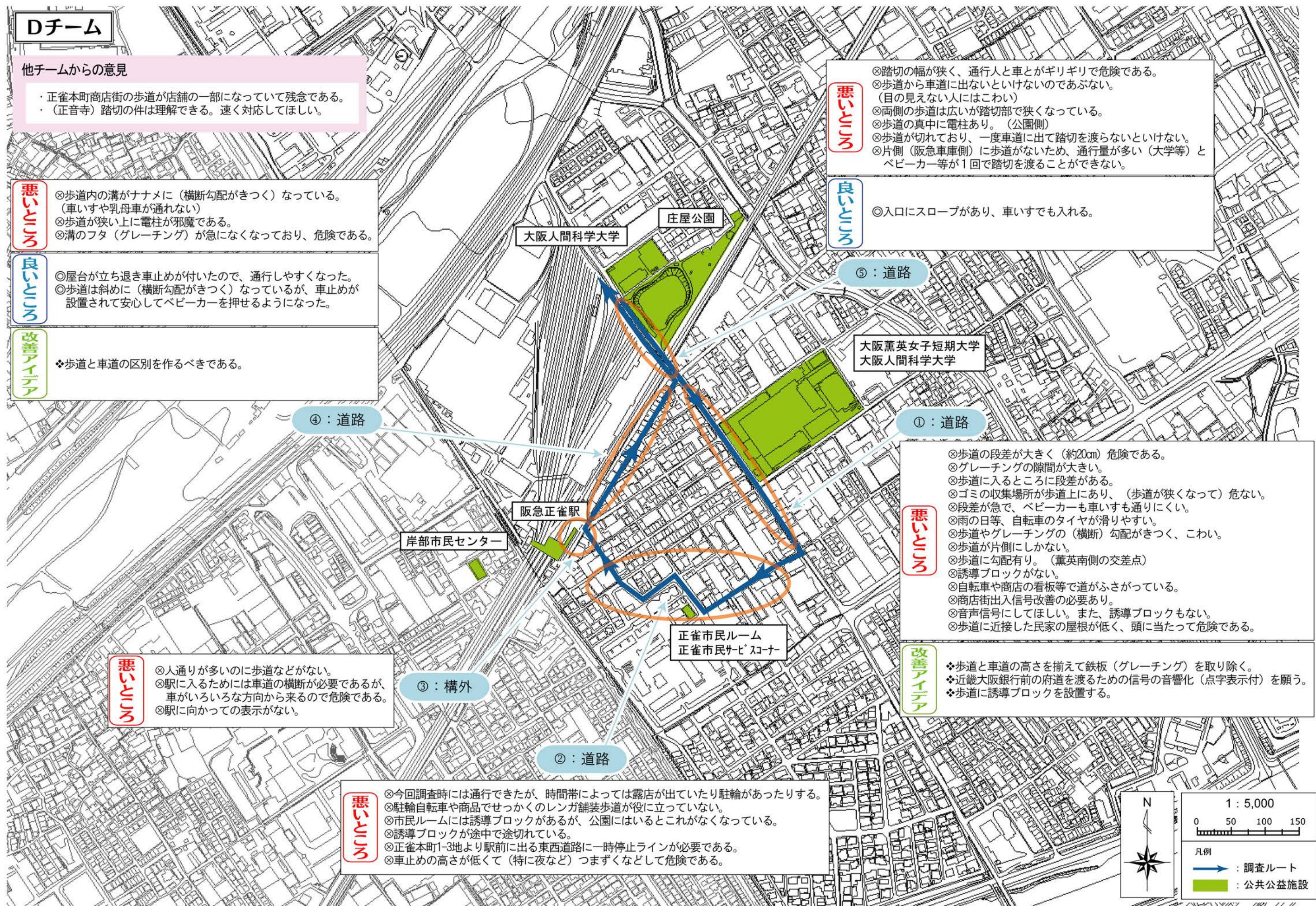


図4-8(3) ワークショップの結果(Cチーム)







#### 4 - 3 特定旅客施設の現況

特定旅客施設の中で、1日あたり5,000人以上の利用者（乗降客数）がある鉄道駅については、その新設や大規模改修を行うについて移動円滑化基準<sup>1)</sup>に適合させることが義務づけられています。また、質の高いバリアフリー化を行うにあたって目指すべき具体的な整備内容や仕様について、ガイドラインなど<sup>2)</sup>にまとめられています。

既存の特定施設については、これら移動円滑化基準やガイドラインなどへの適合は義務づけられていませんが、バリアフリーの観点からは、今後、可能な限りこれらの仕様等に沿った整備がなされていくことが望ましいものと考えられます。

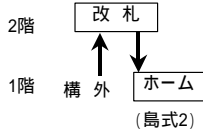
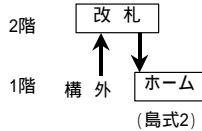
こうしたことから、現在の鉄道駅（JR千里丘駅、阪急正雀駅）の状況を把握するため、基準及びガイドラインなどに示される項目に基づいて確認を行いました。表4 - 17にその結果を示します。

\* 1) 移動円滑化基準：移動円滑化のために必要な旅客施設及び車両等の構造及び設備に関する基準

\* 2) ガイドラインなど：公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン、交通拠点のサインシステム計画ガイドブック

表 4 - 17 鉄道駅の現況

平成16年7月現在

			JR千里丘駅		阪急正雀駅	
参考: 駅の形状			<地上駅> 2階 改札 1階 ホーム (島式2)		<地上駅> 2階 改札 1階 ホーム (島式2)	
			 (島式2)		 (島式2)	
			東口	西口	東口	西口
移動経路(1) 構外 改札	公共用通路との出入口の仕様等への適合	A 1	○	○		
	傾斜路(スロープ)の仕様等への適合	A 1	-	1段手すり		-
	エレベーターの有無	A 1	有	無	無	無
	エレベーターの設備機能・仕様等への適合	A 2		-	-	-
	上りエスカレーターの有無	A 2	有	有	有	有
	下りエスカレーターの有無	A 2	無	無	無	無
	エスカレーターの設備機能・仕様などへの適合	A 2				
	階段手すり(両側)と点字表示の有無	A 1	有	有	有	有
	階段の仕様等への適合(段鼻の明度差)	A 1				
移動経路(2) 改札 ホーム	階段手すりの仕様等への適合(2段手すりなど)	A 2	片側1段手すり	設置方法など	1段手すり	1段手すり
	エレベーターの有無	A 1	無	無	無	無
	エレベーターの設備機能・仕様等への適合	A 2	-	-	-	-
	上りエスカレーターの有無	A 2	無	無	無	無
	下りエスカレーターの有無	A 2	無	無	無	無
	エスカレーターの設備機能・仕様などへの適合	A 2	-	-	-	-
	階段手すり(両側)と点字表示の有無	A 1	有	有	有	有
	階段の仕様等への適合(段鼻の明度差)	A 1	明度差低	明度差低	明度差低	明度差低
	階段手すりの仕様等への適合(2段手すりなど)	A 2	形状など	形状など	1段手すり	1段手すり
トイレ	障害者用トイレの有無	A 1	有 (構外に1箇所)		無	
	多機能トイレの標準仕様等への適合	A 2	平面鏡なし、可動式手すりなし等		-	
	多機能トイレの推奨仕様等への適合(温水設備等)	A 2	温水設備なし、おむつ交換シートなし等		-	
案内情報	視覚障害者用誘導ブロックの有無	A 1	有		有 ホームは点状ブロックのみ敷設	
	点字運賃表・案内板・触地図の設置・仕様等への適合	A 2	触地図なし		点字運賃板のみ設置	
	音声誘導設備の設置・仕様等への適合	A 2				
	可変式情報表示装置の設置・仕様等への適合	A 2	○			
	駅名表示の設置・仕様等への適合	A 2				
施設・設備等	改札口の幅員・仕様等への適合	A 1	○			
	乗車券等販売所・案内所の仕様等への適合	A 2		カウンターの蹴込みなど不適	カウンターの蹴込みなど不適	
	券売機(障害者対応)の設置・仕様等への適合	A 2		蹴込み、金銭投入口など不適	蹴込みなど不適	
	転落防止柵(ホーム端部)の有無	A 1	有		有	
	転落防止装置(警告ブロック)の有無	A 1	有		有	
	転落時の安全確保措置の仕様等への適合	A 2				
	ホームと電車の段差・隙間の程度	A 1				
	車いす用渡し板の有無	A 1	有		有	
	列車接近警告の有無	A 1	有		有	
	ホーム上の設置物の設置方法等への適合	A 2	○			
	ホームの明るさの程度	A 2	○			
	ベンチ・休憩施設等の有無	A 1	有 ベンチのみ		有 ベンチ、待合室	
	救護室の有無	A 2	無		無	
	車いす対応公衆電話の有無	A 2	無		無	
	公衆ファックスの有無	A 2	無		無	

## 凡例



A 1 …移動円滑化基準(義務化)

A 2 …ガイドライン等(努力義務)

#### 4 - 4 道路の現況調査

##### < 既存調査 >

本市では、平成 15（2003）年度に、「摂津市バリアフリーガイドマップ」を作成していますが、この際、ＪＲ千里丘駅周辺および阪急正雀駅周辺の道路におけるバリア（障害）について調査を行っています。

既存調査結果として、その際の結果を図 4 - 9 に示します。



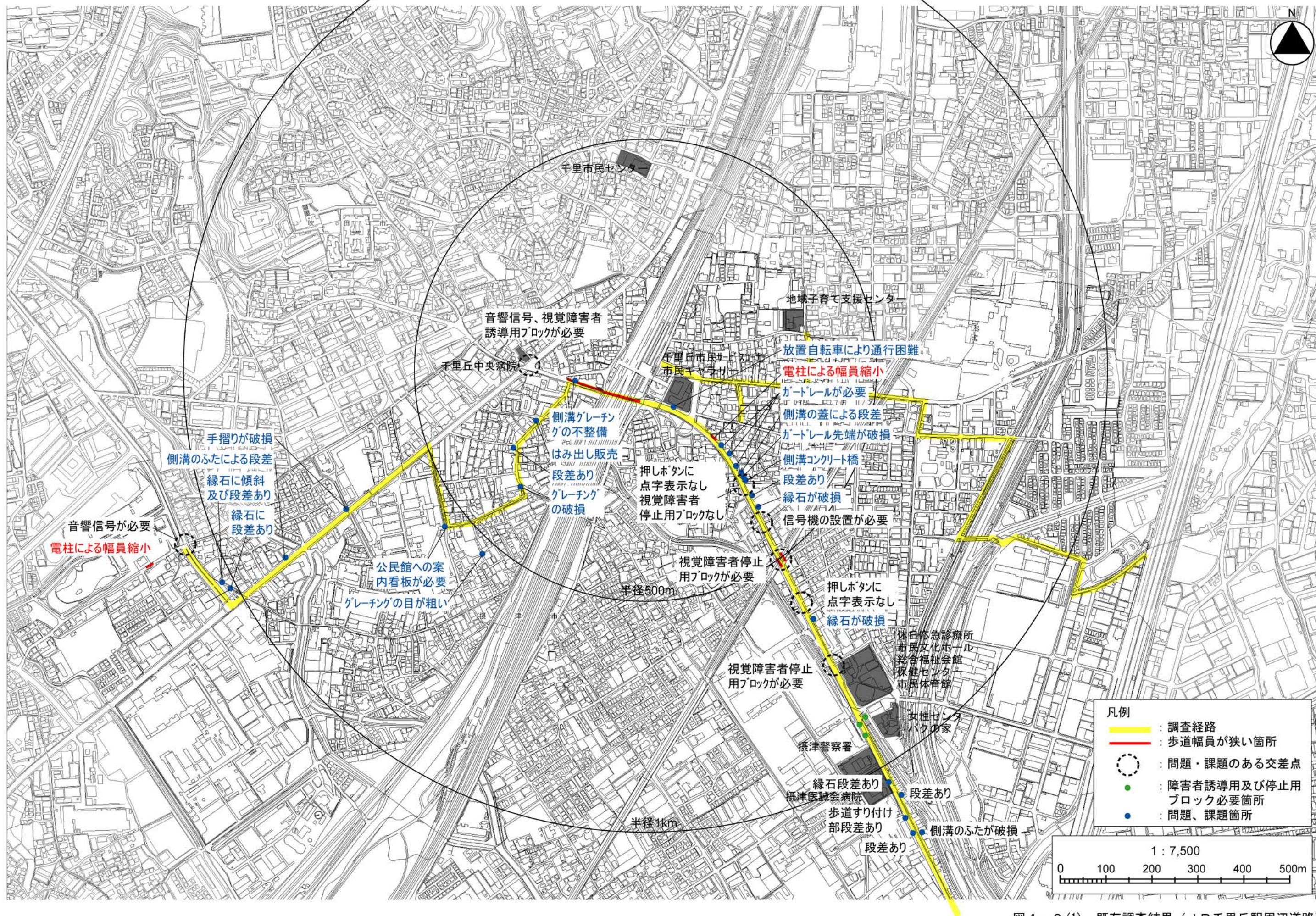


図4-9(1) 既存調査結果 (JR千里丘駅周辺道路)



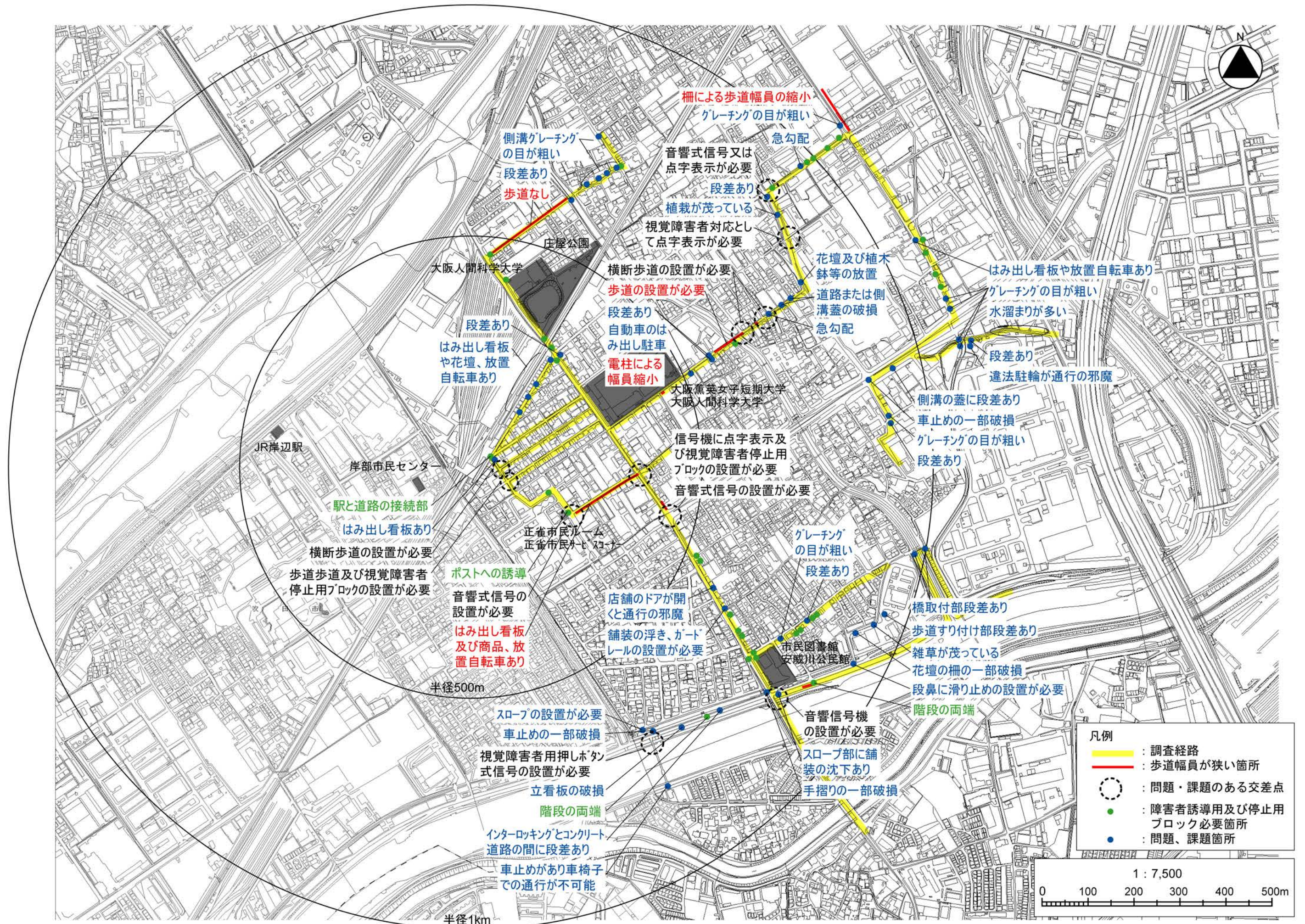


図4-9(2) 既存調査結果(阪急正雀駅周辺道路)



< 移動円滑化基準等に基づく調査 >

特定経路に位置づけられた道路については、移動円滑化基準への適合が義務づけられることとなるため、事前に、これが可能となるか否かを見極めておく必要があります。

そこで、特定経路となり得る道路について、図 4 - 10 に示す確認項目に沿って現況確認を行いました。図 4 - 11 にその結果を示します。

<b>【基本的な確認事項】</b>	
・ 特定旅客施設（鉄道駅）から公共公益施設に至るまでの間で（車道と分離された）連続した歩道を確保することが可能であるか。	
・ 歩道について、移動円滑化基準で数値化されているもの（下表）を満足させることが可能であるか。	
確 認 事 項	内 容
幅員	有効で 2.0m 以上を連続して確保（車両乗入部を含む）
縦断勾配	5 %（やむを得ない場合 8 %）以下
横断勾配	透水性舗装を施した場合で 1 % 以下、やむを得ない場合（曲線部や非透水性舗装）で 2 % 以下
車道とのすりつけ部の水平区間	1.5m 程度
縁石高さ	15cm 以上
歩道高さ	標準：5cm
歩車道境界段差	標準：2cm
<b>【その他の事項】</b>	
・ 歩道における雨水排水の状況、歩道舗装面の不陸、波打ちなど	
・ 歩道における不法占用物（自転車、店舗看板など）の有無	
・ 視覚障害者誘導用ブロックの整備状況	
・ 信号機における音声装置の有無	

図 4 - 10 道路の現況調査における確認項目







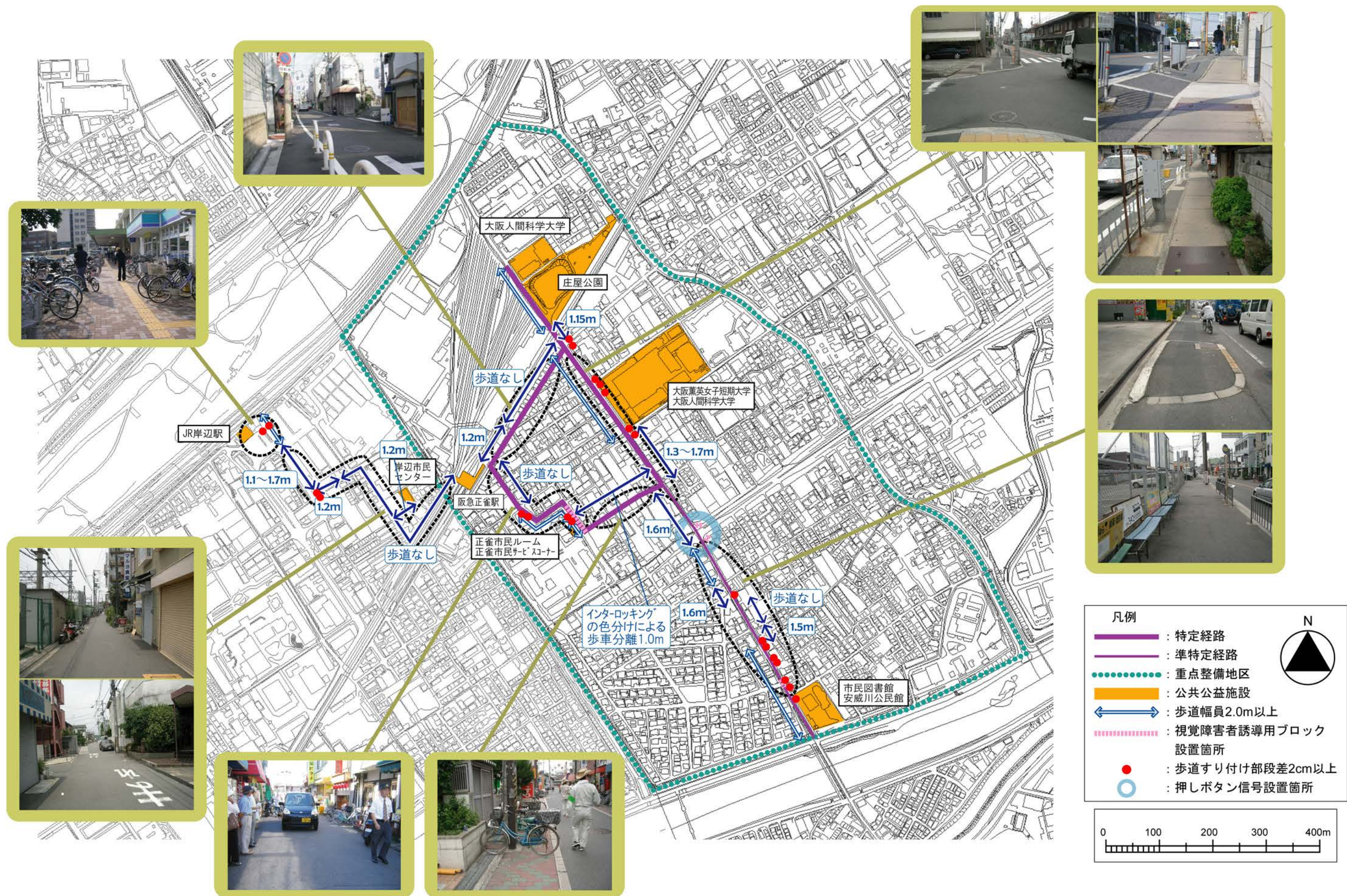


図4-11(2) 道路の現況（阪急正雀駅周辺）